

参加者約330名～更埴教育会総集会～



恒例となった合唱「大地讃頌」

去る5月21日(土)に更埴教育会総集会が更埴文化会館を会場に開催されました。

今年度も更埴音楽教育研究会の合唱「大地讃頌」で幕を開け、例年にも増して多くの先生方がステージいっばいに集い、迫力のある素晴らしい合唱を聴かせてくれました。また、参加者全員による「信濃の国」の合唱では、ステージと客席が一体

となった歌声がホールいっばいに響き渡り、更埴教育会の団結の強さを感じさせられました。



袖山 茂先生

開会行事では、更埴教育会会長の袖山茂先生の挨拶に引き続き、信濃教育会会長代理で、平成26年度更埴教育会会長、現信濃教育会研究調査部部長の小松



小松信美先生

信美先生よりご祝辞をいただきました。また、先輩の先生方など多くの皆様にご来賓として出席いただきました。

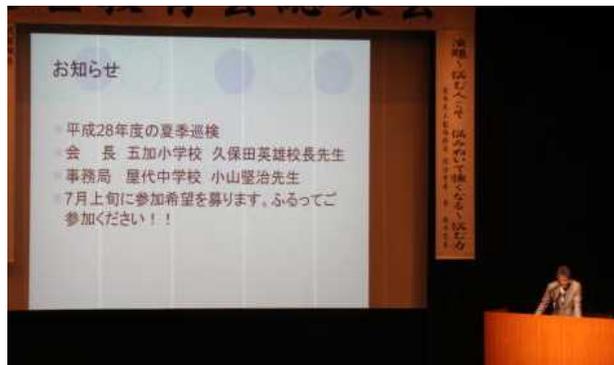


会場に響き渡った合唱「信濃の国」

本年度は会員約260名、一般参加者72名、計330名余りの出席と、近年にない参加者数でした。

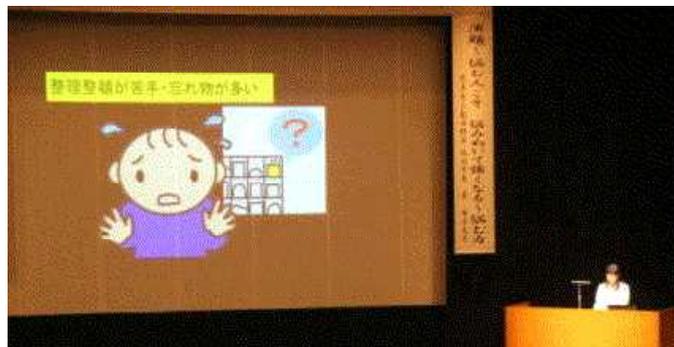
開会行事の後は、地歴民俗研究会、特別支援教育研究会より昨年度の活動の様子について発表がありました。

地歴民俗研究会の発表では、更埴西中学校の佐久間昌彦先生から昨年度の巡検の様子と共に、本年度の巡検についてのお知らせがありました。



地歴民俗研究会

また、特別支援教育研究会の発表では、稲荷山養護学校の金子聡美先生から、子どもの困り感に寄り添った視点からの発表がありました。今ではどのクラスにもいるこれらの子どもたちに対して、どのような支援を行うことが必要なのかを示していただき、私たち自身が今後更に



特別支援教育研究会

研修を積み重ねより良い支援をしていく力をつけなければならないと感じました。

続いて東小学校の佐々木優先生より「めざせ長野県のディズニーランド」と題して視察報告が行われました。会員意見発表では、戸倉上山田中学校、高村一先生より「心の自律をめざしたキャリア教育」について発表がありました。どちらの先生も、自分の経験や実践に基づいた、力強い発表内容でした。

講演会

～悩む人こそ 悩み抜いて 強くなる～ 悩む力
熊本県立劇場館長 政治学者 姜 尚中

今年度の講演会は、更埴教育会の念願だった姜尚中先生を講師にお迎えし、『～悩む人こそ 悩み抜いて 強くなる～悩む力』と題してご講演をいただきました。この4月に起きた熊本地震での姜先生の体験や、夏目漱石が教師として持っていた教育観の素晴らしさなどお話をいただきました。「個、自由を求める教育がかえって社会における有用性のない人間を生み出している」という指摘や、「人間には哀れの情があるから絆が生まれる」といった言葉は、私たちが子どもの前にどのようなスタンスで立つことが大切なのかを問いただすものでした。



出席いただいた新入会員のみなさん

新入会員歓迎会・懇親会

総集会終了後、更埴教育会館において新入会員歓迎会・懇親会が行われました。本年度も昨年度同様、新入会員を含め総勢100名余の参加があり、教育会館の2階は熱気であふれていました。日頃なかなか話す機会がない他校の先生方と情報交換をしたり、来賓・顧問の先生方とじっくり話をしたりするなど、参加者にとって大変よい機会となりました。